

平成 27 年 1 月 28 日

「グリーン・レガシー・ヒロシマ」に広島大学も参画
被爆樹木の種で平和へのメッセージを世界に

広島大学は、未来へのメッセージ「平和・希望・共生」を世界中に伝えるために、広島市内の被爆樹木の種子を海外協定校などに贈る取り組みを 3 年前から始めています。

これは、広島市内の被爆樹木の種子を海外に送り、平和と再生のメッセージを伝える「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」に参画した取り組みです。広島大学では、平和事業の一環として、UNITAR（国際訓練調査研究所）、ANT-Hiroshima、広島平和文化センター、広島県、広島市、広島市植物公園などと共に協力しています。

海外協定校などへの被爆樹木の種子の寄贈は、平成 24 年にオーストラリアのラ・トロープ大学、グリフィス大学、スロベニアのリュブリャナ大学に贈ったのを始めとし継続的に行っています。種子は無事に発芽し、広島の平和・希望のシンボルとして大切に育てられています。



グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブの取り組みは、平成 26 年 12 月に日本ユネスコ連盟の「プロジェクト未来遺産 2014」に登録されました。

グリフィス大学で育っているイチョウの様子（平成 26 年 12 月）

【お問い合わせ先】

広島大学 教育・国際室 国際交流グループ 奥田
TEL：082-424-6890